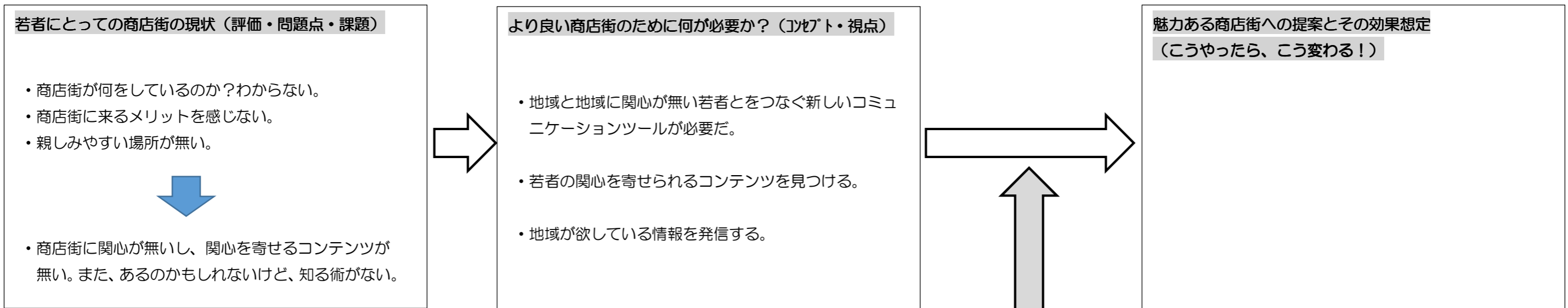


C 地域と若者とをつなぐ新しいコミュニケーションツール



魅力ある商店街のための具体的提案

具体的提案内容（事業内容、スケジュール）

- 大学生による有料ボランティア活動
- ボランティアサークルとの活動
- 書き損じはがき、ペットボトルキャップ
- 無料の車いす点検
- 介護の講座（デモンストレーション）



チラシ・パンフレットにより学生に配布

☆市報、新聞に代わる新たな情報交換ツール

- 学生に地域の情報を伝え、地域若者の情報を伝える。
- 上記の取組状況や対外的情報発信のためのツールとして利用する。

- 学生への伝達方法としては、学友会との連動によるメール配信や SNS を利用したツールが考えられる。（インスタグラム、フェイスブック、ツイッター、LINE 等）
- 商店街活動と連動したイベント案内、アルバイト募集情報、地域情報の発信
- 商店街店舗からの情報発信（特典、割引、プレゼント情報等）
- JR 豊栄駅北口広場（大学送迎バス待合箇所）への掲示板設置
- 医療福祉大学送迎バス内の音声放送による情報発信ツールによって
- アルバイト情報、ボランティア情報、イベント情報を発信することができる。

※タウン誌、FM 放送等も考えられる。また駅前のサテライト拠点での情報提供も効果大？

第3回合同検討会及び第7回学生チームWS による意見提案

1. 松浜地区で行われている自治会活動の一環としての「新入生食事会」は非常に有効。自治会活動として新入生に地域の決め事（ゴミの出し方など）を知ってもらい、自治会活動の紹介などお互いに情報交換できる素地を作るという意味で非常に有効と考える。ぜひ、葛塚地区のコミュニティへも働き掛けを検討し、地域の人に学生を認知させたい。
2. 葛天でも新入生歓迎イベントを開催しているが、新入生に伝える手段が限られており、有効に機能しているとは言い難い。もっと広報活動に工夫が必要だと思われる。
3. インスタグラムや FACEBOOK など SNS 分野になると、地域の側がついて行けない。学生目線の有効な情報発信が無いと、伝えられなくなってしまふ。それに情報ブロック機能もあることから、何でも SNS というのは無理がある。
4. 学友会での一斉メールという方法も可能性はあるが、その頻度の多さや連絡事項の多さを考えると地域と若者とをつなぐツールとしては、いささか心許ない方法であるという認識である。LINE については、新しいツールとして検討する余地があると思われる。
5. アナログな方法のほうが地域情報は有効に伝わると思われる。ポスター、市報、写真など若者が目にする機会を増やすため、JR 豊栄駅北口のバス待ち場所やシャッター面などを中心に「大きな掲示板」での情報発信のほうが望ましい。タイミング良くアルバイト募集やイベント案内などの情報更新を頻繁にするためには、掲示板の設置だけでなく、入替のメンテナンスの仕組みも合わせて検討する必要がある。



アナログな情報発信ツールから始めてみたい。特に
 ①自治会等による「新入生歓迎食事会」等の対面方式。
 ②掲示板の設置及び情報メンテナンスの仕組み
 に絞って具体的な事業計画を検討することとしたい。